報告

SCIS & ISIS 2004 (Joint 2nd International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and 5th International Symposium on Advanced Intelligent Systems) 報告†

若山 大樹*

1. はじめに

2004年9月21日から24日の4日間、慶應義塾大学矢上キャンパスにおいて、SCIS & ISIS 2004 (Joint 2nd International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and 5th International Symposium on Advanced Intelligent Systems) が開催されました (写真1-1: 看板、写真1-2: 会場)。今年の日本は、とくに台風で天候の乱れることの多い年でしたが、開催中の4日間については、天候に恵まれました。以下、この国際会議について報告させていただきます。

2. 会議の概要・様子

SCIS & ISIS 2004は、日本知能情報ファジィ学会 (SOFT) 主催、The Korea Fuzzy Logic and Intelligent Systems Society (KFIS)、IEEE Neural Net-

写真1-1: 看板

写真1-2: 会場

work Society (IEEE NNS)、The International Fuzzy Systems Association (IFSA)、Advanced Information Technology Research Center, KAIST (AITrc) の共催、慶應大学理工学部との協力のもとで開催されました。

SCIS & ISIS 2004は、今から二年前につくば市の産業技術総合研究所ではじめて共同開催された第1回国際シンポジウム SCIS & ISIS2002に引き続き、第2回目の共同開催となります。

本会議では、Plenary Talk 5件、招待講演3件、そして64のセッションにおいて316件の発表が、多いときには8つの部屋に分かれて行われました (写真2-1)。それらの分野は、Artificial Intelligence, Fuzzy Reasoning, Micro/Nano Technology, Bayesian Networks, Genetic Algorithms, Mobile Machines, Cognitive Modeling, Genetic Programming, Modeling and Simulation, Complex Systems, Hardware/Software Co-Design, Multi-Agent Systems, Computational Intelligence, Intelligent Manufacturing Systems, Neural Networks, Control, Intelligent Transportation Systems, Neuro-Fuzzy, Distributed Systems, Knowledge Acquisition, Ontological Engi-

SCIS & ISIS2004 Report
Daiki WAKAYAMA
Akita Prefectural University

写真 2-1 : 会議報告の様子

写真 2-2 : Welcome Reception の様子

写真 2-3 : Banquet の様子

写真 2-4 : Banquet の催し

neering, Education and Training, Learning and Adaptive Systems, Probabilistic Reasoning, Embedded Real-Time Systems, Machine Learning, Robotics, Fault Detection and Diagnosis, Man-Machine Interaction/Interfaces, Virtual Reality, Fuzzy Logic, Mechatronics Design, Vision and Sensors などと、多方面にわたります。

そして、1日目の夕方には来賓会ファカルティクラブで Welcome Reception (写真 2-2)、2日目の夕方には二幸食堂で Banquet (写真 2-3) のイベントが行われました。どちらの料理も豪華で種類も多く素晴らしいものでした。とくに、Banquet では、慶應大学応援団による催し (写真 2-4) があり、迫力満点であったため、比較的遅くまで残って歓談された参加者も多かったのではないかと思います。

3. おわりに

研究者どうしの交流の場を提供することは、国際会議の主要な目的のひとつだと思います。そのためには、SCIS & ISIS 2004 の先生方やスタッフの皆様が協力して準備・運営してこられたように、一人でも多くの参

加者が会場に集い居心地良く滞在できるように工夫し実践することが、とても重要なことだと感じました。今回 SCIS & ISIS 2004 に参加させていただいて、様々なところで運営スタッフの方々の行き届いたおこころ配りを感じることができましたので、最後に少し述べさせていただきたいと思います。

まず、わたしが本会議のことについて知ったのは、2003年10月第5回日本感性学会大会会場（つくば市産業技術総合研究所）で、筑波大学の鬼沢先生から、SCIS & ISIS 2004 CALL FOR PAPERS と書かれたカラフルな A4 サイズのご案内をいただいた時です。その後、本会議の Organized Session (Human Judgment and Decision Making) Chair の早稲田大学竹村先生からお声をかけていただき、参加させていただくことになりました。カラフルなチラシをいただいて、その後、お声掛けいただくようなことがなければ、参加させていただくこともなかったかもしれず、この「会議報告」についても書かせていただくことはなかったのではないかと思います。

次に、私事で恐縮ですが、9月の会議 SCIS & ISIS 2004 は、今年7月上旬のギリシャ(ロードス)、8月下

旬のハンガリー（ブダペスト）と、私にとって今年三つ目の国際会議でした。その二つの国際会議では、会場で荷物を預かってくれる担当のスタッフなどなく、無人の部屋に置くか、持ち歩く必要がありましたので、荷物を置いて行動することが不安で不便を感じて過ごしました。しかしながら、SCIS & ISIS 2004では、会場2階や Welcome Reception 会場出入り口付近、Banquet 会場出入り口付近で、荷物を預かってくださる係り（クローク）の方々が居られ、彼らのお陰で荷物の面で安心して、預けて行動することができました。また、会場最寄り駅（日吉駅）の改札内外（付近）に少し大きめの荷物の入るロッカーは、無いとのことでしたので、荷物を持って直接会場へ行かなければならず、担当のかたがいて荷物を預かってくださることに、たいへんありがたく感じました。

そのほか、SCIS & ISIS 2004のすばらしかったとこ

ろは、7階談話室、その他たくさんございますが、本会議は、スタッフ皆様の参加者への行き届いたお心配りが、特に印象に残りました。本会議が、これからの国際会議のお手本として、また、良き伝統として受け継がれていくならば、この研究分野は、ますます発展していくのではないのでしょうか。

（注）写真は SCIS&ISIS2004実行委員会撮影

〔問い合わせ先〕

若山大樹（わかやまだいき）

〒015-0055

秋田県本荘市土谷字海老の口84-4

秋田県立大学 システム科学技術学部

経営システム工学科

Tel : 0184-27-2137

Fax : 0184-27-2189

E-mail : dwakayam@akita-pu.ac.jp